

EA993BF-2～50(油圧ジャッキ)取扱説明書

Ver.1.0

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。



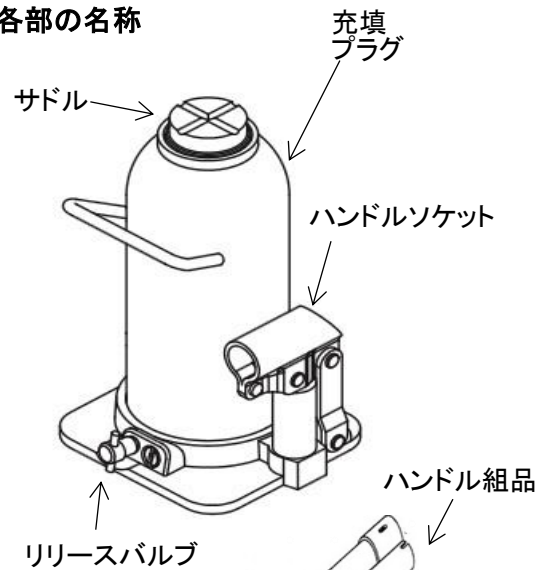
- ・当製品はジャッキアップ作業用です。ジャッキアップしたまま保持はできません。
- ・ジャッキで持ち上げたらすぐにスタンド(ウマ)等で対象物を必ず支えて下さい。
- ・当製品はトレーラー、ハウス、建築物などのリフト作業にはお勧めしません。

○仕様

	能力	最低揚高	最大揚高	重量
EA993BF-2	2t	181mm	344mm	2.4kg
EA993BF-4	4t	193mm	373mm	3.2kg
EA993BF-6	6t	210mm	416mm	3.9kg
EA993BF-8	8t	230mm	460mm	5.0kg
EA993BF-10	10t	230mm	460mm	5.6kg
EA993BF-16	16t	230mm	440mm	7.1kg
EA993BF-20	20t	242mm	452mm	9.1kg
EA993BF-32	32t	275mm	440mm	12.0kg
EA993BF-50	50t	265mm	425mm	25.3kg

・EA993BF-2～20は補助ねじが付いているので、微調整ができます。

○各部の名称



注意

1. 使用前に、すべての警告および操作手順を読み、理解して下さい。
2. 許容能力を超えてこのジャッキに過負荷をかけないで下さい。
3. これは持ち上げ装置のみです。
4. ジャッキは、荷重を支えることができる硬い地表で使用して下さい。
5. ジャッキスタンドでサポートされるまで車の下に入らないで下さい。
6. 車両メーカーが指定した車両の領域だけを持ち上げて下さい。
7. サドルの中心に荷重を架けて下さい。
8. 一部の車両では、持ち上げる為にフレームに掛けるアダプタが必要です。
9. 適切な持ち上げについては、車両メーカーの指示に従って下さい。
10. ジャッキを改造することはできません。
11. 純正の付属品、留め具、またはアダプターのみを使用して下さい。
12. ジャッキに乗ったまま車両を動かさないで下さい。
13. これらの警告に従わなかった場合、人身事故、または財産損害が発生する可能性があります。

検査

製品は、取扱説明書の指示に従って下さい。改造しないで下さい。

1. 使用前に、溶接部の亀裂、破損、曲げ、磨耗、部品の緩みまたは欠落、油圧漏れなどの異常が無いがジャッキの外観検査をして下さい。
2. 本書に従って検査を実施して下さい。
3. ジャッキが異常な負荷や衝撃を受けていると思われる場合は、直ちに製品の検査を実施して下さい。



警告: 能力を超えた使用をしないで下さい。
固い表面で水平な場所で使用して下さい。
ジャッキアップ作業のみに使用して下さい。ジャッキアップしたまま保持はできません。
ジャッキアップ後はスタンド(ウマ)等で必ず支えて下さい。
指示に従わずに作業を行うと重大な人身事故につながります。

○使用方法

-持ち上げ作業-(例:自動車)

1. ジャッキと車両が水平な面にあることを確認します。
2. 車のパーキングブレーキを掛け、車輪をブロックします。
3. 車両の使用マニュアルを参照して、ジャッキポイントの位置を確認し、所定のポイントの下にジャッキを配置します。
4. リリースバルブを時計回りに回して閉じます。この時、締め過ぎないで下さい！

5. ハンドルをソケットに入れ、ポンプを上下させ車両を希望する高さまで持ち上げて下さい。
6. 車両の直下にジャッキスタンドを設置して下さい。ジャッキスタンドなしに車両の下に入ってはいけません。ジャッキは長時間、重い車両を保持するようには設計されていません。ジャッキを車両の両端に同時に置いたり、車両の片側に置かないで下さい。
7. リリースバルブを反時計方向にゆっくり回して、車両をジャッキスタンドに下ろします。

-降下作業-(例:自動車)

1. リリースバルブを時計回りに回して閉じます。
2. ハンドルをポンプで動かし、車両をジャッキスタンドから持ち上げます。
3. ジャッキスタンドを取り外し、降下中は下に誰も入らないで下さい。
4. リリースバルブを反時計回りにゆっくりと回して、車両を地面に降ろします。

メンテナンス

- ・使用後は表面をきれいに保って下さい。
- ・可動部に注油して下さい。
- ・使用していない時は、常にサドルとラムを全部降ろして保管して下さい。腐食から守ります。

オイルの交換

1. リリースバルブを反時計回りに回して、ラムを完全に下げます。
下降のためにサドルに力を加える必要があるかもしれません。
2. ジャッキを水平位置にしてオイル充填プラグを取り外し、古いオイルを抜きます。ハンドルソケットを下にして垂直にジャッキを立てます。オイルは充填穴の下部と同じ高さに入れて下さい。
過度に充填しないで下さい。常に新しいクリーンな油圧ジャッキオイルを使用して下さい。
3. 充填プラグを取り付けます。
4. ジャッキの動作を確認します。
5. 必要に応じてシステムからエアを抜きます。

エア抜き

1. リリースバルブを反時計方向に1回転回し、開きます。
2. ポンプハンドルを8回フルストロークします。
3. リリースバルブを時計回りに回してバルブを閉じます。
4. ラムが最大の高さに達するまでハンドルをポンプで動かし、ラムの中に閉じ込められた空気を取り除くために数回ポンプを続けます。
5. オイル充填プラグをゆっくり抜き、その隙間から閉じ込められた空気を放出します。
6. リリースバルブを反時計方向に1回転させ、ラムを最低位置に下げます。必要であれば力を加えて下さい。
7. リリースバルブを時計回りに閉めて、ポンプ動作が適切であるかを確認します。
空気が完全に放出するには、上記の過程をを2回以上行う必要があります。

トラブルシューティング

状況	原因	解決
・ジャッキが完全な高さまで上がらない。	・オイルが少ない。	・オイルレベルのチェックをして下さい。
・ジャッキが持ち上がった後に下がる。	・リリースバルブがしっかりと締まっていない。 ・油圧オイルが汚染されている。 ・ポンプバルブがシールされていない。 ・シリンダーラムの噛み込み。	・リリースバルブをしっかりと締める。 ・オイルの交換。 ・修理を受ける。
・ジャッキが下がらない。	・シリンダーラムの噛み込み。 ・内部損傷。	・修理を受ける。
・ジャッキは持ち上がる時海綿を感じる。	・エアが混入	・エアパーズを参照。

改造はしないで下さい。



- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業工程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ
 本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14
 TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929